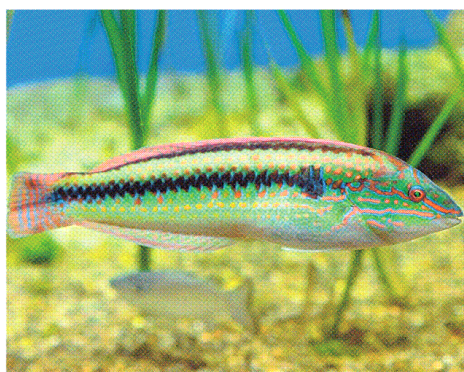




♂雄のキュウセン。雄になると体が緑色になる♀体が赤っぽい雌

キュウセン

学名 *Parajulis poecilopterus*

食べ物 ゴカイ類、小さなエビ、カニ、貝など
生息地 九州～北海道函館以南、朝鮮半島、中国沿岸

全長 30センチ
特徴 波がおだやかで岩が点在する内湾の砂や泥の海底に多く生息する。昼間は海底近くを泳ぎ回り、砂の中にいる小動物などを口でほじくり出して食べている。暗くなると砂の中に潜って休む。驚いたときなどにも砂の中に潜って隠れる習性がある。雄と雌では体の色が違い、雌から雄へと性転換をする。関西や瀬戸内海沿岸では食用にされる。鹿児島湾では桜島周辺などでよく見られる。

大きなものが性転換する

桜島近くの海でダイビングをすると、溶岩のまわりの砂地で、体をくねらせながら泳ぐ色鮮やかなキュウセンをよく見かけます。砂の中にひそむゴカイなどを小さな口で掘り出して食べます。どこかに餌がないか、いつも探して泳ぎ回っているのです。ダイバーが砂をまき上げると、真っ先に近寄ってきて砂煙の中の餌をついばみます。

キュウセンは性転換をする魚としてよく知られます。子どもはすべて雌で、体は赤っぽい色です。しかし成長とともに、群れの中で一番体が大きなものが緑色になり、雄に変身します。小さな水槽に雄が2匹以上いると大変です。雄は縄張りを持つので、けんかばかりする

ことになります。キュウセンはダイバーを恐れな大胆な面がある一方、とても臆病でもあります。以前、海で採集してきたキュウセンを水槽に入れると、すぐに砂の中に潜ってしまっただけがありました。そのまま1カ月以上も姿を見せず、死んでしまったのかとあきらめかけたころ、ようやく姿を見せました。しかし、水槽をのぞき込むと、驚いてまた砂に潜り、またしばらく姿を見せなくなりました。

驚いたときや夜に休むときには砂の中に潜る習性があるのです。水族館に来たキュウセンは、潜ったり出たりを繰り返す間に少しずつ慣れ、3カ月くらいたつて、ようやくいつも姿を見られるようになりました。(展示課魚類展示係主任・宮崎亘)

